

令和 4 年度実績報告書

令和 5 年 3 月 19 日

公立千歳科学技術大学
学長 宮永 喜一 様

公立千歳科学技術大学特別研究等助成要綱第 7 条に基づき、下記のとおり報告いたします。

報告者	所属	共通教育科	職名	教授 准教授 講師 助教 助手
	氏名	山下 文	ふりがな	やました あや
研究課題名	和歌における複合動詞表現の研究—『千里集』を中心に			
本研究費による発表論文、著書など	あすなろ会（関西の和歌文学研究者を中心にした研究会）における発表 ① 山下 文「歌語としての複合動詞—「扱く」を第一項とする表現について—」2022 年 8 月 27 日、於同志社大学今出川キャンパス ② 山下 文「遍昭の複合動詞—「ふきまく」「はひまつはる」について—」2023 年 3 月 18 日、於同志社大学今出川キャンパス *出張経費は一般研究費によるものであるが、発表のための資料調査や書籍の購入時に本研究費を使用している。			

研究成果報告

研究の目的

本研究は、大江千里（9世紀半ば～10世紀初頭）の私家集である『千里集』の和歌に見られる複合動詞を分類・分析することを通して、『古今和歌集』成立以前に活躍した歌人の歌風を明らかにするとともに、和歌における複合動詞の位置づけを明らかにすることを目指したものである。

本研究が『千里集』を取り上げた理由としては以下の3点がある。

特徴①：詠歌事情が明確であること

特徴②：中国の漢詩句を句題として詠んでおり、複合動詞と句題の比較が可能であること

特徴③：125首の和歌が収められており、検討に十分な複合動詞の用例を採集できること

研究内容・方法とその成果

令和4年度には「動詞連用形＋動詞」の形態を取る表現を複合動詞と見做し、『千里集』所収の125首の和歌から複合動詞に相当する表現を全て抜き出し、複合動詞を詳細に分析・考察するための基礎データ作成をおこなった。その結果『千里集』の全125首には、のべ語数にして79、異なり語数にして59の複合動詞が見られることが明らかになった。さらに、抽出した複合動詞を以下の観点による分類を試みる。

観点①：『千里集』成立以前に詠まれた和歌（894年以前）にも用例が見られるか否か

観点②：漢詩句題に相当する漢語複合動詞があるか否か

ただし、全ての複合動詞の分類・分析を単年度内に終えることは困難である。そこで、本年度は『千里集』の春部と夏部に相当する33番歌までに見られる複合動詞（のべ語数20、異なり語数18）に限定した分類と分析をおこなった。対象となる複合動詞は以下の通りである。

帰り来、栄え来、咲き乱る、咲き渡る、過ぎ行く、過ぎし来、立ち来、尋ね来、散り果つ、散り紛ふ、成り増さる、成り行く、吹き落つ、吹き送る、吹き来、降り来、降り捨つ、惜しみ来

観点①による分析の結果、『万葉集』の時代より用いられてきた表現として、全18語のうち8語（帰り来・咲き渡る・過ぎ行く・立ち来・尋ね来・散り紛ふ・吹き来・降り来）が数えられることが明らかとなった。この8語中5語（帰り来・立ち来・尋ね来・吹き来・降り来）の後項に時間の経過や変化を表す「来(く)」が置かれているという特徴がある。さらに、千里以前の和歌に用例がなく、且つ千里以後の和歌に複数の用例が見られる表現として4語（吹き送る・惜しみ来・過ぎし来・咲き乱る）があるが、この場合も後項に「来」を置くものが2例を占めるという特徴がある。

観点②により『千里集』中の複合動詞を見ると、漢詩句題中に対応する漢語複合動詞が見られるものに「吹き送る」「惜しみ来」の2語がある。このうち「吹き送る」については、実際に漢語としての「吹送」が存在しており、唐代漢詩（王維「若道春風不解意、何来吹送落花生」）や日本漢詩（菅原道真「吹送馨香風破花、養来筋力気関身」）にも用例がある。

このようなことから、大江千里は複合動詞を用いるに当たって『万葉集』以来の和歌に用いられる表現を積極的に取り入れているということ、新たに複合動詞を生み出す場合には比較的穏当な語彙を組み合わせているということが明らかとなった。加えて、漢才にも優れていた千里は漢語複合動詞の影響も受けていることも明らかとなった。

今後の展開

本研究の報告者は、これまで僧正遍昭（816年～890年）、在原業平（825年～880年）をはじめとした六歌仙の和歌に見られる複合動詞についても分析を試みている。『千里集』の複合動詞に見られる上記の特徴は、遍昭・業平の複合動詞には見出されないものである。今後は令和4年度内に扱うことのできなかった『千里集』の34番歌以降の複合動詞の分類・分析を行うだけでなく、他の同時代歌人の複合動詞との比較を行いたい。それにより、『古今和歌集』成立以前に歌人達がどのように和歌表現を生み出していたのかを明らかにしてゆく。